

広報費に関する評価結果の概要

部課名	政策経営部 広報課	事業名	広報費	トピックス	シティプロモーション
総合評価	一部改善すべき	評価コメント	・これまで様々な取り組みをよく実施しているが、さらに高みを目指してほしいという意味を込めて、「一部改善」とする。 ・周知を行うにあたっては、より伝わる、読みやすい内容を心がけ、今後も引き続き様々な取り組みを検討の上、実施いただきたい。		

改善プログラムにつながる意見

【議論のポイント1】 プロモーション すべき町田の 魅力について	コーディネーターによる まとめ	FC町田ゼルビアや町田駅の利便性、都会と緑のバランスがとれていることによる暮らしやすさ、ポケふたなど、町田の魅力が何かは人によって異なるため、他市との比較・分析を行い、それぞれの魅力を効果的に発信してほしい。
	評価人チーム意見	・町田駅自体が便利であることや、ごみを戸別収集していることなど、市民にとっては当たり前のことでも他市と比較すると魅力であることは多くある。また、ポケふたなど、特定の趣味・嗜好を持つ人にとって魅力的なコンテンツもある。そういった「当たり前のこと」についても改めて他市との比較・分析をし、魅力として発信していくとよい。 ・中高生をインタビュアーとして起用することや、高校生や大学生をインフルエンサーとして育成してはどうか。 ・シティプロモーションの成果指標を他市比較することで、市の魅力発掘やPRに繋がるだけでなく、計画改定時にも役立つと思う。
【議論のポイント2】 ターゲット別の推進 方法について	コーディネーターによる まとめ	若年層に対しては、SNSの使い方のブラッシュアップを、市外の方や、普段からまちだに関心が低い層に対しては、アプローチの仕方を工夫し、世代・居住場所・発信する内容ごとにこういった手法が適切か検討の上、プロモーションしてほしい。
	評価人チーム意見	・若年層に対しては、Instagramの写真に文字を入れる、ハッシュタグをつける、リール動画に流行りの音楽を使うなど、より多くの人に投稿を見てもらえるような工夫や、一目見ただけで町田市の投稿だとわかるようなデザインにするとよい。 ・市外の方や、普段からまちだに関心が低い層に対しては、他部署や民間企業と連携して魅力発信をしてはどうか。例えば、ホームタウンチームである、FC町田ゼルビアは市外の方からも注目されているため、競技場で市のアンテナショップを開店するとよい。

広報費に関する改善プログラム【議論のポイント1 シティプロモーションすべき町田の魅力について】

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

町田の様々な魅力を効果的に発信するため、適切なタイミングで、内容に合った切り口及び媒体で発信していきます。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【若者と連携した町田の魅力の発信】 シティプロモーションサイトの記事作成に、高校生や大学生にインタビュアーとして携わってもらうこと等で、若者の意見を取り入れた市の魅力発信を行う。	若者と連携したシティプロモーションの実施	－ (2025年3月)	実施 (2026年12月)	実施【改善済み】	若者による町田の魅力動画作成プロジェクトとして、20名の若者による動画作成および、その発表会を行った。今後、参加者による情報発信や町田市公式SNSでの紹介を予定している。	
2	【他自治体比較を踏まえた次期計画の検討】 他自治体のシティプロモーションに関する取組および指標を調査・分析し、次期計画の取組や指標に反映する。	次期計画への反映	－ (2025年3月)	反映完了 (2027年3月)	反映中【改善進行中】	他自治体のシティプロモーションの指標、目標値、成果、計画及び取組の内容等を分析し、次期計画の素案に反映した。今後も計画策定に向け、指標や目標値、取組の実効性の検証を行う。	

広報費に関する改善プログラム【議論のポイント2 ターゲット別の推進方法について】

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

若年層の目に触れることの多いSNSについては、投稿の仕方などをより工夫します。
また、市外の方や、普段からまちだに関心が低い層に対しては、アプローチの仕方を工夫し、適切な手法を検討し、プロモーションを行います。

改善プログラム

No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【SNS発信手法のブラッシュアップ】 Instagram及びシティプロモーション サイトの記事が閲覧されやすくなるため、 写真に文字を入れる、ハッシュタグをつ けるなどの工夫をする。	リーチし たアカウ ント数	240,315 アカウン ト (2024 年1～12 月)	250,000 アカウン ト (2025 年1～12 月)	441,689 アカウン ト (2025 年12月) 【改善済 み】	Instagramの写真に文字を入れる、 ハッシュタグをつける、著名人を起用 したイベントの様子をリール動画とし て編集・発信するなど、より多くの人 に投稿を見てもらえるような工夫を 行った。 その結果、目標を大きく上回るアカウ ントのリーチにつながった。	
2	【まちだに関心が低い層にアプローチす る取組の強化】 民間企業および他部署と連携して、集 客が見込めるイベントにブース出展し、 まちだの魅力をPRを行う。	出展回数	－ (2025 年3月)	3回 (2026 年3月)	2回 (2026 年3月) 【改善進 行中】	2025年12月6日、7日に海老名駅 で開催された「おだきゅう FamilyFunフェスタ2025」にブー ス出展し、町田の魅力をPRした。 2026年度も引き続き、民間企業や 他部署と連携し、集客が見込めるイベ ントに積極的に出展し、PRを行う。	